

2 本時の展開

	学習活動(○基本発問 ◎中心発問)	指導・援助
導入	<p>1 教材に関心を持ち、課題を確認する。</p> <p>○「人を思いやる」とはどういうことだろう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>「人を思いやる」とはどういうことだろう。</p> </div>	<p>・「背番号10」の意味を確認する。</p>
展開 前段	<p>2 教材「背番号10」を読み、話し合う。</p> <p>○「僕」のチームメートに対する行動の中で、「素敵だな」と思ったところと、「残念だな」と思ったところはどこですか。</p> <p>〈「素敵だな」と思うところ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備や声掛けなど、自分ができていることを続けた。 〈「残念だな」と思うところ〉 ・ミスなどに対して、誰彼なしに大声を出してとがめた。 <p>○「僕」は、思ったように動いてくれないチームメートのことをどう思ったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう負けたくないの、みんなにもっとやる気を出してほしい。 ・キャプテンとして、やる気のない仲間には注意をするのは当たり前だ。 ・なぜあいつらはついてこないんだ。 ・自分は間違っていないのに、認めてくれないのはおかしい。 <p>○チームメートが、「僕」についてこなかったのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おれたちの気持ちを考えているとは思えなかったから。 ・自分の自己満足で動いているだけだ。 <p>◎もう一度拍手が起こり、深々と頭を下げたとき、「僕」はチームメートに対して何を思ったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャプテンとして仲間に認めてもらえて嬉しい。 ・以前の自分は、チームメイトにとってふさわしいキャプテンではなかったかもしれない。そのことを謝りたい。 ・ベンチに入ることができたのは、チームのみんなのおかげだ。これまでついてきてくれたみんなに感謝したい。 ・背番号を付けて、たくさんの人から拍手までもらえるなんて、みんなのために自分ができていることをやってきてよかった。 <p>【深めの発問】</p> <p>○チームメートは、なぜもう一度拍手をしたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのために動いてくれていた。 ・自分よがりのキャプテンではなくなった。思いやりがあった。 ・ケガをしても自分たちのために、やれることを頑張っていた。 	<p>・教材を読む前に、「僕」のチームメートに対する行動の中で、「素敵だな」(人間理解)、「残念だな」(価値理解)と思うことを見つけるように投げかけ、生徒の反応を生かして発問に繋げる。</p> <p>・キャプテンとしてチームを引っ張る立場にあるため、新人戦敗退後のチームのやる気のなさをとがめなければならなかった状況を捉えさせるとともに、一方で部員の心が離れていくことに不安を感じている主人公の多様な考え方や感じ方を引き出す。</p> <p>・「考え、議論する」ために、ネームプレートを活用して似た考えを近くに板書し、自分の考えと他の考えを比べて考えられるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"> 負けたくない やる気を出して キャプテンとして 責任感 怒り なんでついてこない 自分は間違っていない 周りが認めてくれない 不満 </p> </div> <p>・仲間からの拍手が胸に迫り、深々と頭を下げた主人公の思いを考えさせることで、仲間との心のつながりを実感できていることに浸らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【研究内容1】について</p> <p>確かな自己理解を図るために、主発問に対する意見について以下のように問い返す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できることをやってきてよかった。 →それは自分のためだけにやったのかな。 ・辞めずに続けてきてよかった。 →辞めなかったのは「僕」だけの力かな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価の視点】について</p> <p>他者と関わるときに、自分の思いや考えだけで動くのではなく、相手の気持ちを考え、思いやりや感謝の気持ちをもって関わることのよさを理解している。</p> </div> <p>・深めの発問で、「僕」からチームメートへ視点を変えさせる。</p>
展開 後段	<p>3 本時の学習を振り返る</p> <p>○「人を思いやる」とはどういうことだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分は級長として活動をリードしようとしたときに、なかなか言うことを聞いてくれない仲間にイライラすることがあった。しかし、それは独りよがりの考え方であり、相手へのリスペクトが欠けていたと思う。これからは、仲間の支えがあってこそ活動が成功することを忘れず、感謝の気持ちを持ち、声をかけていけるようにしたい。 	<p>・本時の道徳的価値について、自分の似たような経験や自分の考えの変化を踏まえて自己見つけめをするように促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価の視点】について</p> <p>「思いやり・感謝」について、自分の思いや経験を振り返り、今後自分が大切にしたいことについて考えようとしている。</p> </div>
終末	<p>4 振り返りの発表</p>	